環境経営レポート2020

報告期間：2020年 6月 1日 ～ 2021年 5月 31日

VAIO株式会社

発行日：2021年　8月 31日

made in azumino japan

目次

1. 会社概要 ・・・ 3
2. 環境経営理念・方針、環境活動組織 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
3. SDGs への貢献 ・・・ 5
4. 製品環境活動 ・・ 6
5. サイト環境活動 ・・・ 11
6. 取り組み事例 ・・・ 15
7. 環境コミュニケーション ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
8. 環境教育・緊急時対応訓練 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
9. 社会貢献活動 ・・・ 22
10. 使用済み製品のリサイクル ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
11. 環境関連法規制の遵守評価 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
12. 環境マネジメントレビュー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
13. 環境中期目標・計画2025 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

1. 会社概要

2021年8月1日時点

会社名	VAIO株式会社		
設立日	2014年7月1日		
代表取締役社長	山野 正樹		
本社・本社工場	〒399-8282	長野県安曇野市豊科5432	TEL：0263-87-0810 (代表)
東京オフィス	〒107-0052	東京都港区赤坂9-5-14 赤坂ヒルサイドハウスⅡ 2階D	TEL：03-6420-0960 (代表)
大阪オフィス	〒550-0002	大阪府大阪市西区江戸堀2-1-1 大阪江戸堀センタービル9階	TEL：06-6225-1610 (代表)
名古屋オフィス	〒460-0008	愛知県名古屋市中区栄3-2-3 名古屋日興證券ビル4階	TEL：052-269-8028 (代表)
福岡オフィス	〒812-0011	福岡県福岡市博多区博多駅前1-15-20 NMF博多駅前ビル 2階	TEL：092-419-2380 (代表)
URL	https://vaio.com/top/		
事業内容	PC事業、受託事業 (EMS事業)：企画、設計、開発、製造および販売と、それに付随するサービス		
事業年度	6月～5月		
資本金	1,546百万円		

	本社・本社工場	東京オフィス他	
従業員数	406人	62人	(派遣社員等含む)
延床面積	30,486m^2	232.5m^2	
環境責任者	山野 正樹		
環境管理責任者	(主) 奥田 純一郎	(副) 奥原 剛	
環境事務局	(サイト環境) 泉 泰志、 由上 秀一、 青柳 秀典	(製品環境) 内田 昌樹、 黒岩 浩司、 青柳 美穂	

2. 環境経営理念・方針、環境活動組織

【 環境経営理念 】

水と緑豊かな安曇野に立地する VAIO として、身近な環境に限らず、国際的な環境活動と調和した事業活動を行い、永く世界のお客様に愛される商品づくりを目指していきます。

【 環境経営方針 】

1. 環境に配慮した製品・サービスを提供し、お客様の環境負荷低減及び SDGs の達成に貢献します。
2. 働きやすい環境の整備、エネルギー使用の合理化により、CO_2 排出量を削減します。
3. 資源の有効利用、リサイクル化推進により、廃棄物を削減します。
4. 化学物質の適正管理を行い、人と環境への悪影響を削減します。
5. 水使用量の削減に努めます。
6. グリーン購入・調達を継続実施します。
7. 環境関連法規制等を遵守します。
8. 環境経営の継続的改善を実施します。

環境経営方針は全社員に周知し、全員参加で自主的・積極的に取り組みます。
また、環境経営方針は社外にも公表します。

制定日：2015年1月28日
改定日：2019年8月27日

VAIO株式会社
代表取締役社長　山本知弘

【 環境活動組織 】

VAIO株式会社における環境経営は、全組織、全事業活動を対象範囲としています。

3. SDGs への貢献

2020年度は、SDGs の 17ゴールに対して、
9ゴールに貢献しています。

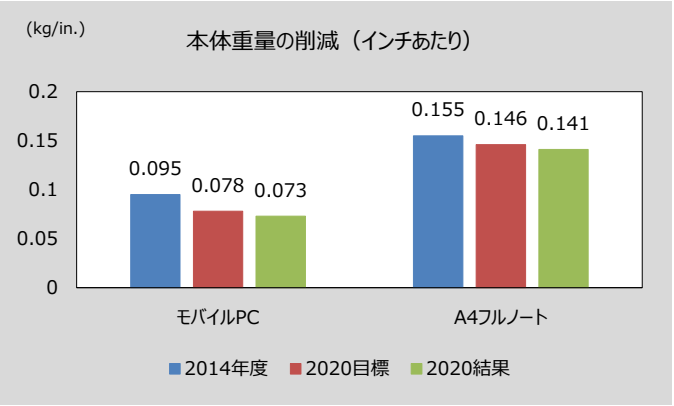
✓：貢献中

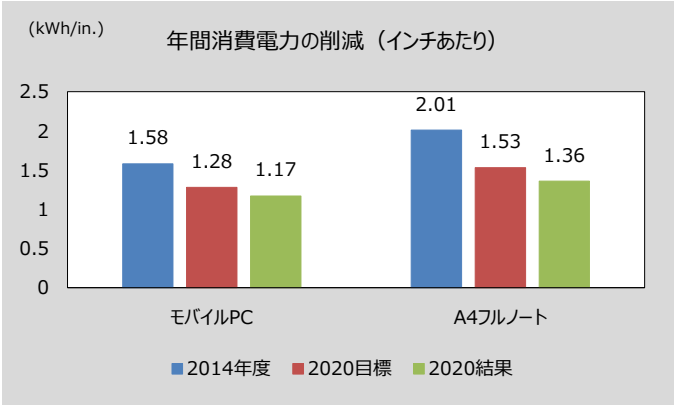
		貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー	水・衛生	エネルギー	成長・雇用	イノベーション	不平等	都市	生産・消費	気候変動	海洋資源	陸上資源	平和	実施手段
製品環境	本体重量削減												✓	✓		✓		
	消費電力削減（オフ時、年間）							✓						✓				
	PVC, BFR, ハロゲンのフリー化						✓									✓		
サイト環境	CO_2廃出量削減							✓					✓	✓		✓		
	廃棄物排出量削減、リサイクル率向上							✓					✓	✓		✓		
	水道使用量削減						✓						✓					
	グリーン購入率向上															✓		
部署の活動	働き方改革（早残・ノー残、テレワーク、有給休暇奨励日、男性育児休暇導入）			✓		✓		✓	✓					✓		✓		
	LED照明の導入							✓						✓				
	部品・材料の余剰リスク回避							✓					✓	✓		✓		
	サーバー・ネットワーク機器等のリプレースによる消費電力量抑制							✓						✓		✓		
	環境配慮製品の拡販、品質改善							✓	✓				✓	✓		✓		
	外部とのコミュニケーション、イノベーション、社会貢献活動				✓			✓					✓	✓				

4. 製品環境活動

目標設定と結果

PC製品における環境目標は、2014年度を基準年度とし、2020年度までに達成すべき中期目標を設定、活動を行ってきました。





2020年度（中期）の結果

活動テーマ	取組	対象	2020年度（中期） 中期目標		結果	評価
資源の有効利用	製品本体重量の削減（インチ当たり）	モバイルPC	2014年度比	18% 削減	23.5% 削減	○
		A4フルノート	2014年度比	6% 削減	9.4% 削減	○
エネルギー使用の合理化	年間消費電力の削減（インチ当たり）	モバイルPC	2014年度比	19% 削減	25.9% 削減	○
		A4フルノート	2014年度比	24% 削減	32.3% 削減	○
	オフ時消費電力の削減	全てのPC		0.5W 以下	0.28W	○
懸念化学物質の削減	PVCフリー・BFRフリー・ハロゲンフリー化	全てのPC		100% 対応	100%	○

※当該年度に発売を開始したモデルの平均値を示しています。
※年間消費電力は、国際エネルギースタープログラム（平成31年2月1日基準）による標準年間消費電力量（E_{TEC}）です。
※オフ時消費電力は、国際エネルギースタープログラム（平成31年2月1日基準）によるオフモード消費電力（P_{OFF}）です。
※インチあたりとは、PCの画面サイズ（型＝インチ）で除した値です。

製品環境アセスメント

VAIO株式会社では、製品における環境配慮設計と環境法規制を遵守するため、「製品環境アセスメント」を実施しています。

製品環境アセスメントは、設計部門が行う商品化プロセスにおいて、環境目標設定(Plan)、環境配慮設計(Do)、環境対応・環境法規制遵守確認(Check)、および結果のレビュー(Action)のすべての段階で活用することができるものです。

2020年度も、全モデルの製品環境アセスメントを実施し、環境目標の達成度、自社基準および環境法規制を遵守していることを確認・評価しています。

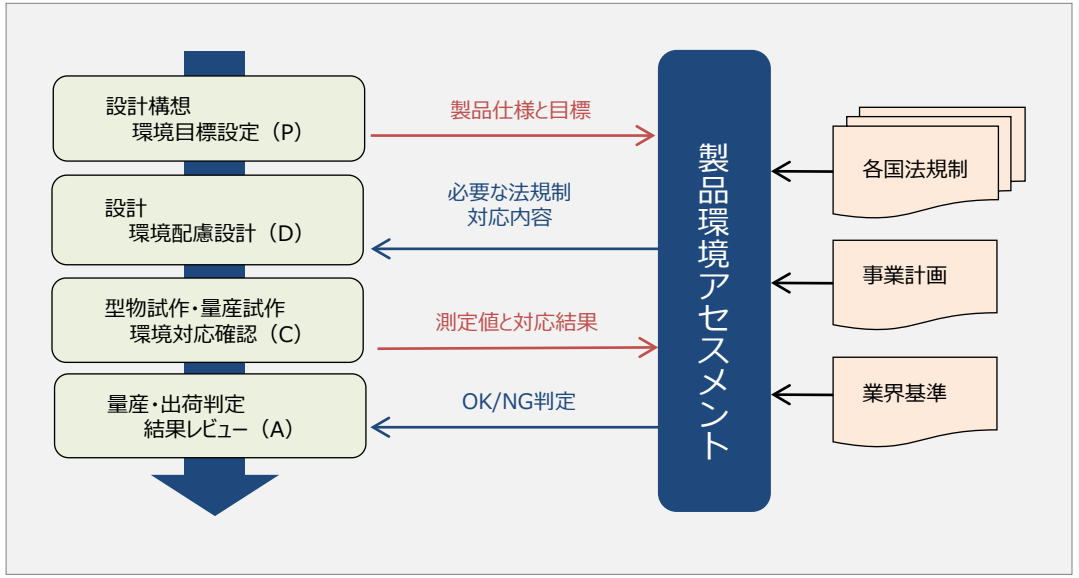
VAIO Pro PG

VAIO SX14
VAIO Pro PK

VAIO SX12
VAIO Pro PJ

VAIO Z
VAIO Pro Z

VAIO株式会社における商品化プロセスと製品環境アセスメントの役割



製品環境アセスメントにおける評価項目

1. 環境関連物質の管理
   - 1.1 ハロゲンフリー対応
   - 1.2 PVCフリー対応
   - 1.3 アレルギーへの配慮
   - 1.4 シックハウス症候群への配慮
   - 1.5 電池の環境管理物質管理
   - 1.6 水銀フリー対応
   - 1.7 化審法・CLP
2. 3R推進
   - 2.1 リデュース
   - 2.2 リユース
   - 2.3 リサイクル
3. 省エネルギー
   - 3.1 ACアダプターの国際効率レベル
   - 3.2 搭載している省電力機能
   - 3.3 オフ時消費電力
   - 3.4 年間消費電力
   - 3.5 バッテリーライフ
4. 包装
   - 4.1 包装材料
   - 4.2 印刷用インク
   - 4.3 包装材の廃棄容易性
   - 4.4 包装材重量・サイズ
5. 取説・情報提供
   - 5.1 開示情報と説明内容
   - 5.2 附属書類（紙・インク・重量）

■ 各仕向け法規制確認
- ・本体表示
- ・取説表示
- ・包装表示
- ・認証と登録
- ・環境管理物質

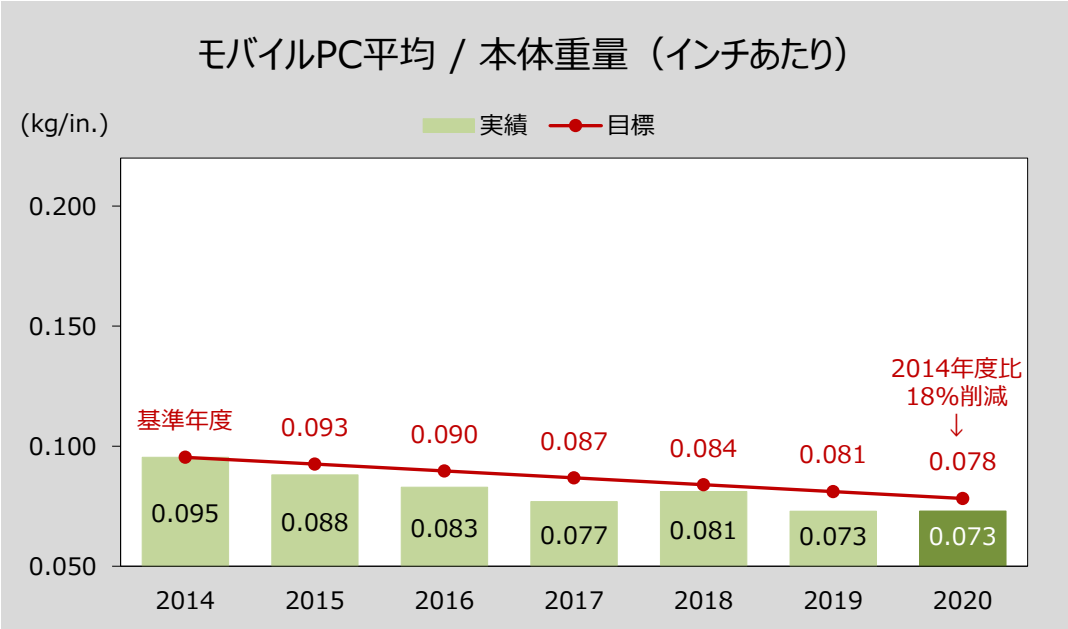
製品本体重量の削減

モバイルPC

モバイルPCの「製品本体重量の削減」は、2020年度中期目標である2014年度比18%削減を達成しました。

- 12.5型ディスプレイを搭載した VAIO SX12 /VAIO Pro PJ は、本体構造・素材の徹底的な見直しで軽量化に成功。
- 14.0型ディスプレイ搭載の VAIO Z では、立体成型フルカーボンボディーで約958g*を実現しています。

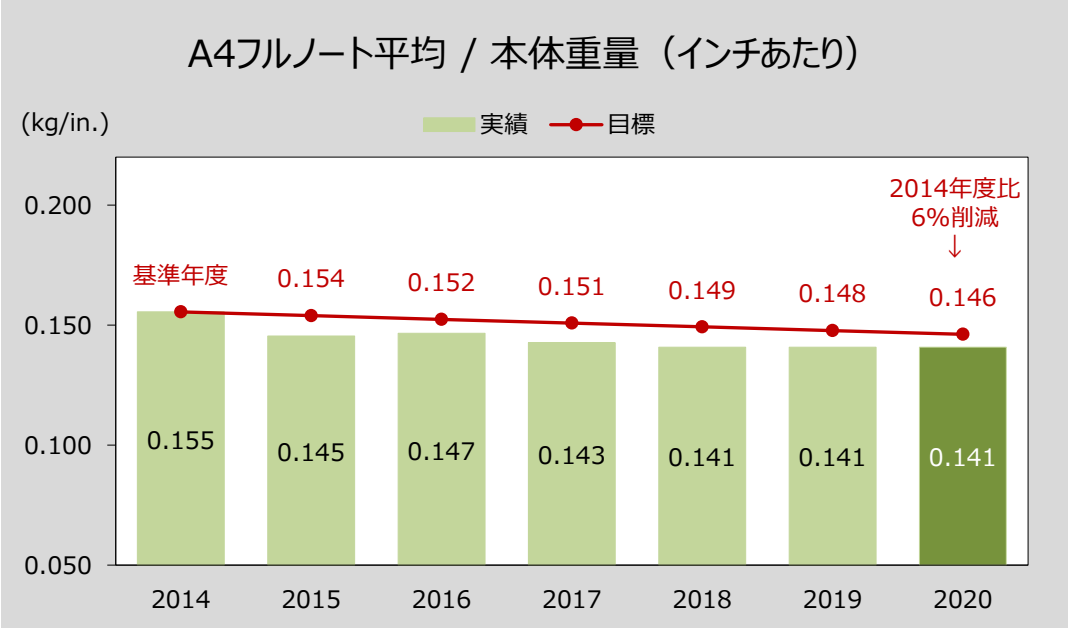
*最軽量構成時、本体質量約958g。2021年1月6日時点ステラアソシエ調べ。



A4フルノート

A4フルノートの「製品本体重量の削減] は、2020年度中期目標である2014年度比6%削減を達成しました。

- VAIO S15 / VAIO Pro PH は、一般的なモバイルノートPCより一回り大きな15.6型ワイドディスプレイを搭載した製品ですが、軽量なLCDディスプレイの採用、部品点数の削減などにより、製品本体重量の削減に成功しました。



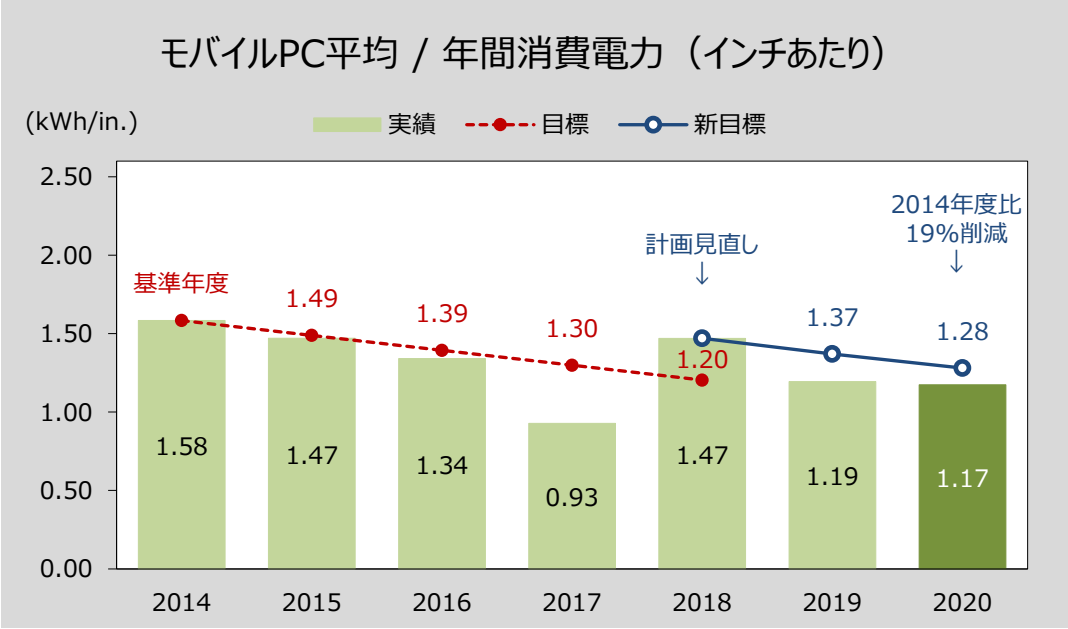
年間消費電力の削減

モバイルPC

モバイルPCの「年間消費電力の削減」は、2020年度中期目標である2014年度比19%削減を達成しました。

- VAIO Pro PGは、低消費電力LCDを採用し、約38%削減に成功。
- VAIO Z /VAIO Pro Z では、モダンスタンバイに対応するとともに、高容量で薄型軽量な新開発・専用設計バッテリーにより、約34時間*というスタミナ駆動を実現しました。

* JEITA測定法 2.0の場合。最大駆動時間は本体仕様により異なります。また、駆動時間は使用状況および設定等により変動します

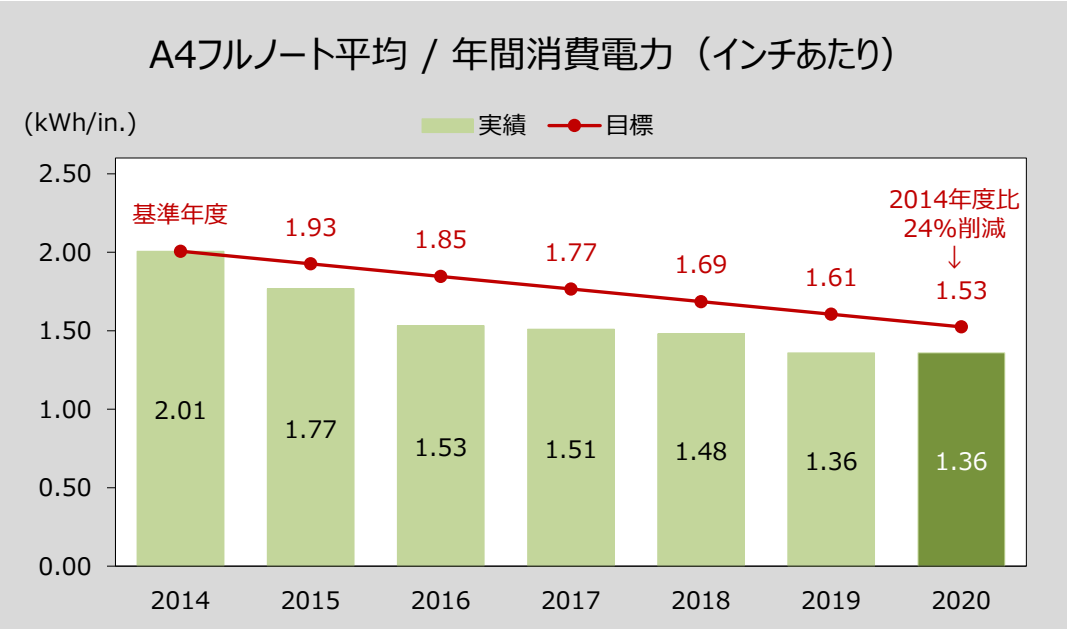


A4フルノート

A4フルノートの「年間消費電力の削減」は、2020年度中期目標である2014年度比24%削減を達成しました。

- VAIO S15 / VAIO Pro PH に搭載の CPU 6コア/12スレッド駆動のインテル®Core™ i7 は、ノートPCの多くで採用されている省電力優先Uラインのインテル®Core™ i7と比較して、2倍以上*のCPU性能を持ちながらも、緻密な電力コントロールを行うことにより、さらなる低消費電力化を達成しました。

* VAIO株式会社調べ。ご使用の環境により結果が異なる場合があります。



オフ時消費電力の削減

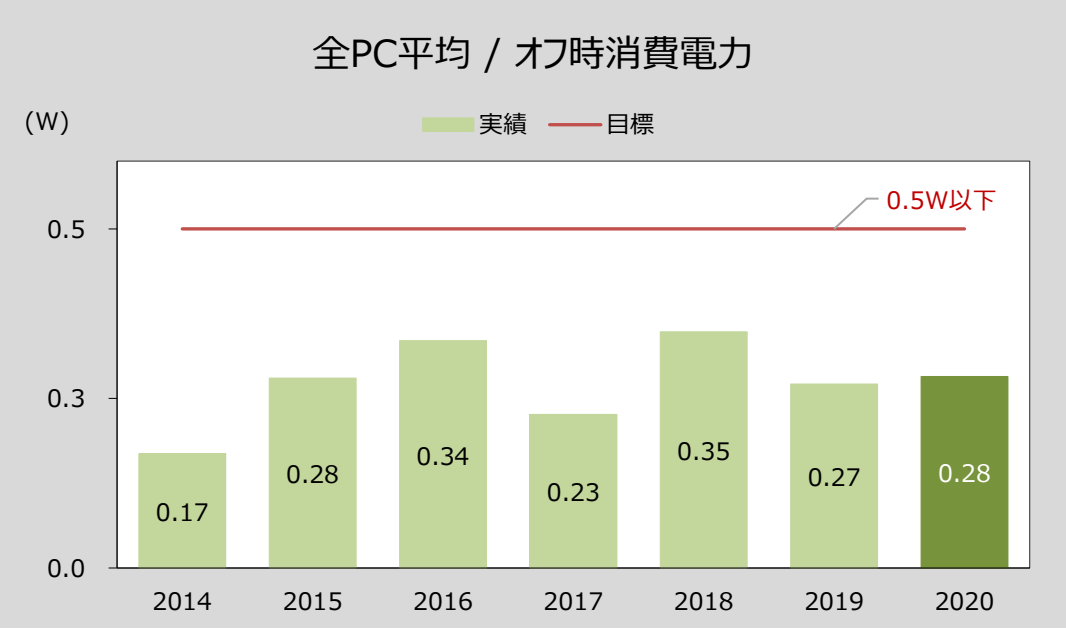
すべてのPC

すべてのPCを対象とした「オフ時消費電力の削減」は、2020年度中期目標を達成しました。

すべてのPCにおいて、

- 電源オフ時のリーク電流確認
- 電源オフ時のEC省電力機能実装

を行い、オフ時消費電力0.5W以下という極めて高いレベルの目標を継続達成しています。



PVCフリー・BFRフリー・ハロゲンフリー化

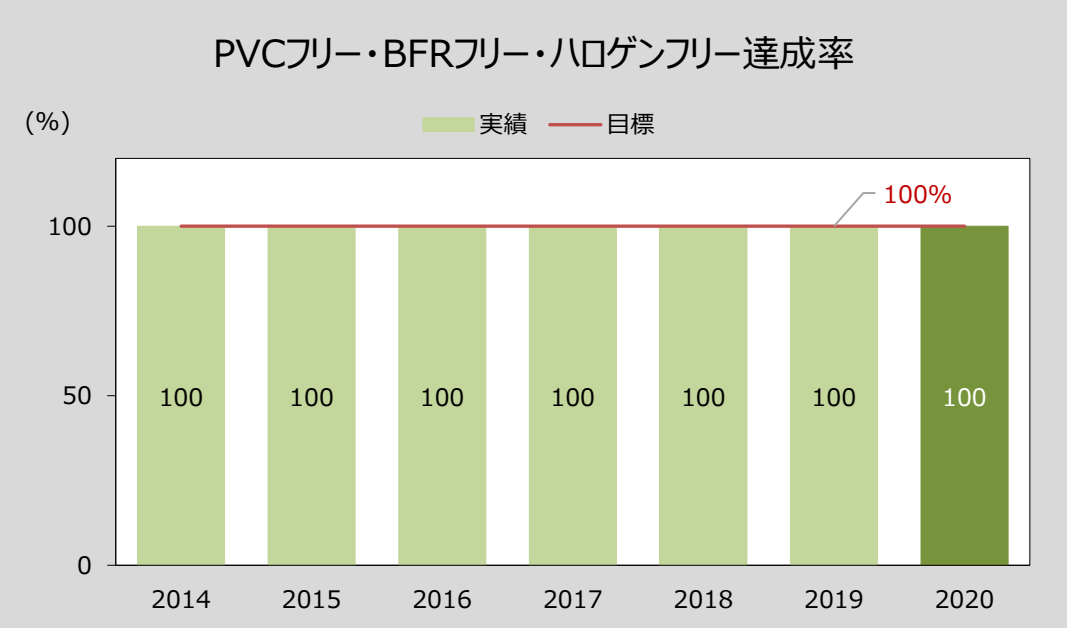
すべてのPC

すべてのPCを対象とした「PVCフリー・BFRフリー・ハロゲンフリー化」は、2020年度中期目標を達成しました。

すべてのPCにおいて、

- 機器内部で使用しているハーネス被覆材のPVCフリー化
- 20g 以上の樹脂筐体のBFRフリー化
- 20g 以上の基板のハロゲンフリー化

を実施し、達成率100%（当該年度の全モデルで達成）を継続しています。



5. サイト環境活動

目標設定

サイト環境におけるCO_2排出量および廃棄物排出量は、事業規模による変動があるため、
売り上げに対する排出量の比率（排出量/売上）で算出し、さらに2016年度の実績を『100』として換算した原単位を用いています。
2016年度を基準年度とし、2017年度以降は年2ポイントづつ削減することを目標としています。

2020年度の結果

取組	単位	2020年度		
		目標	実績	評価
CO_2排出量の削減	原単位	92 以下	68	○
廃棄物排出量の削減	原単位	92 以下	94	×
リサイクル率の向上	%	90.0 以上	92.1	○
水道使用量の削減	m^3	12,360 以下	12,939	×
グリーン購入率の向上	%	90.0 以上	96.6	○

※原単位について：売り上げに対する排出量の比率（排出量/売上）で算出し、さらに、2016年度の実績を『100』として換算したものです。
※電力の二酸化炭素排出係数：本社・本社工場：0.000485 t-CO_2/kWh（中部電力ミライズ2016年度実排出係数），東京オフィス：0.000486 t-CO_2/kWh（東京電力エナジーパートナー2016年度実排出係数）

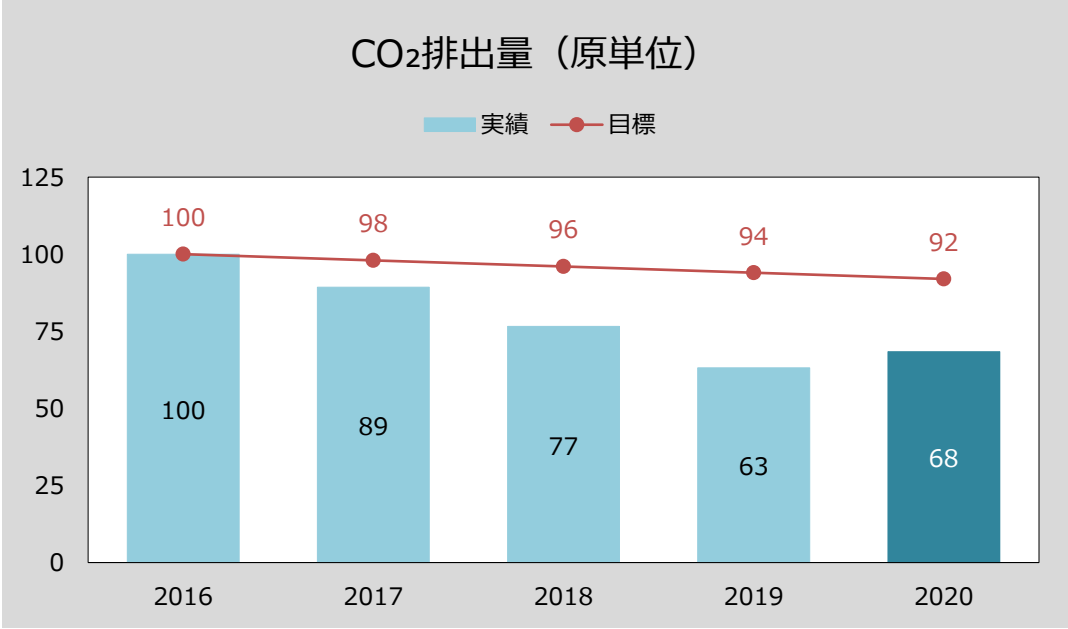
CO_2排出量の削減

全社（本社・本社工場 ＋ 東京オフィス他）

全社における「CO_2排出量の削減」は、2020年度目標を達成しました。

- 温度管理の徹底（冬20℃、夏28℃）：本社・本社工場、東京オフィス
- 内外温度を確認し外気の取り込みにより温度調整　：本社・本社工場
- 3号棟エアコン導入　：本社・本社工場
- 3号棟製造ライン照明のLED化　：本社・本社工場

結果	本社・本社工場	1,538 t-CO_2	98.40%
	東京オフィス他	25 t-CO_2	1.60%
	合計	1,563 t-CO_2	100%



リサイクル率の向上

全社（本社・本社工場 ＋ 東京オフィス他）

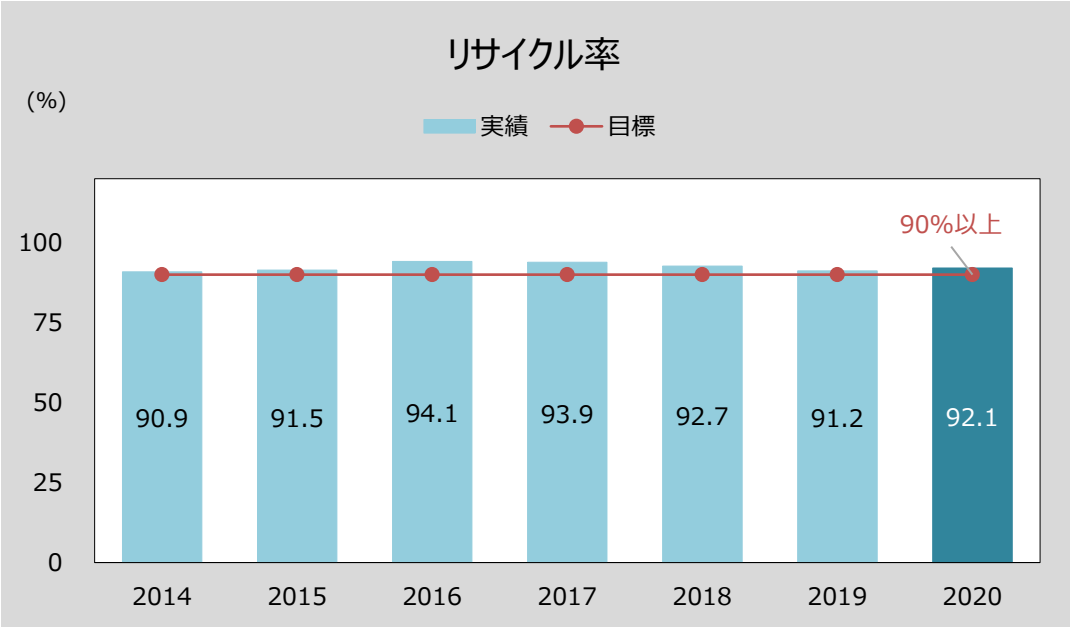
全社における「リサイクル率の向上」は、2020年度目標を達成しました。

取り組みとしては、

- 各職場に「リサイクルステーション」を設置
- 分別徹底の推進（リサイクルステーションの監視強化）
- 一般可燃物削減に向けた分別強化

を実施しました。

これにより 90% 以上のリサイクル率を継続達成しています。



廃棄物排出量の削減

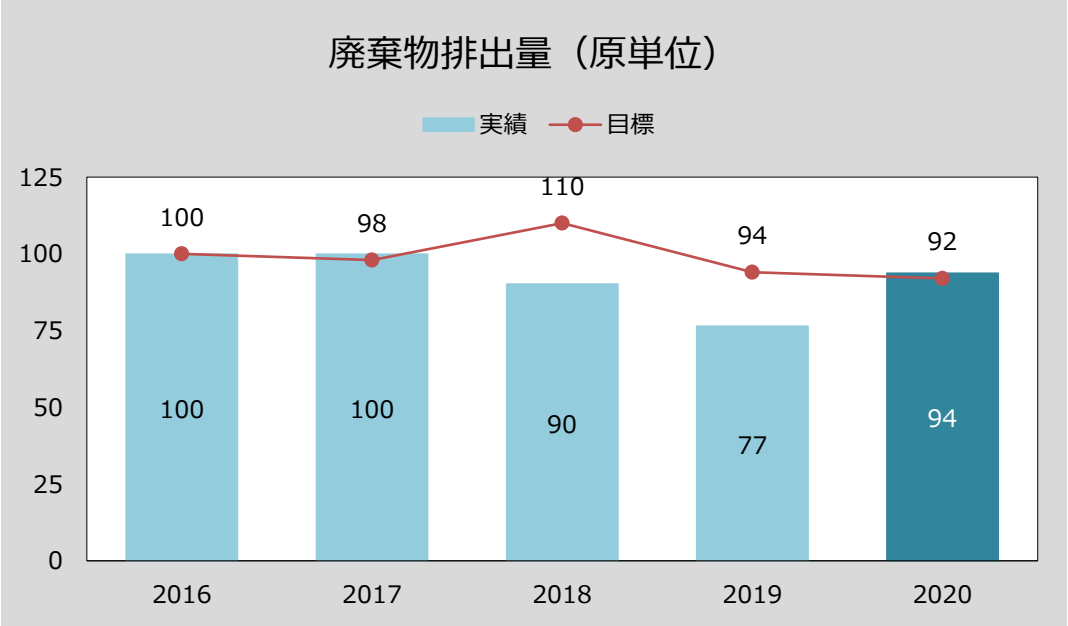
全社（本社・本社工場 + 東京オフィス他）

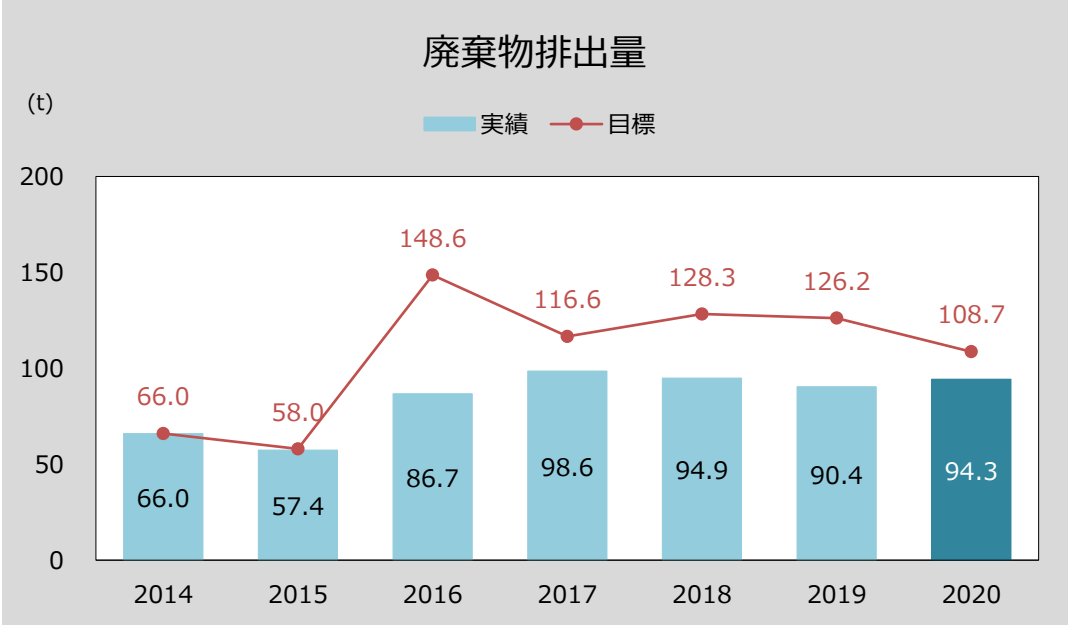
全社における「廃棄物排出量の削減」は、2020年度目標に対して排出量としては達成しましたが、原単位管理上は未達となりました。

取り組みとしては、

- 社内ホームページに廃棄物情報を掲載
- 分別徹底の推進(現場への表示・ステーション監視強化)
- 電子化・両面コピー・裏紙使用の推進
- 廃棄物データ分析の継続

を実施しました。





水道使用量の削減

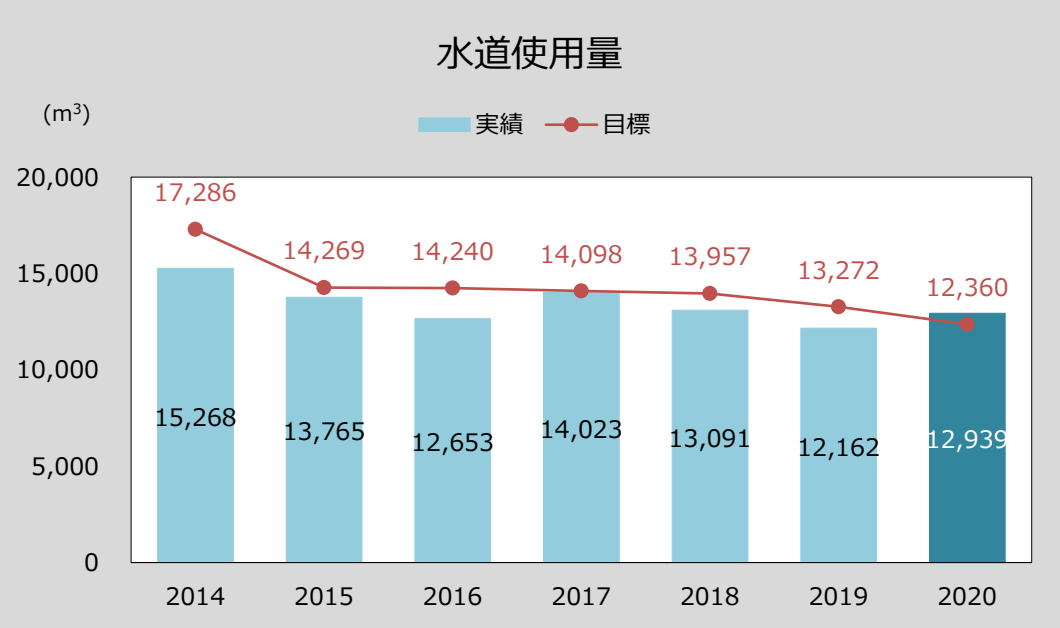
本社・本社工場

本社・本社工場における「水道使用量の削減」は、2020年度目標に対して未達となりました。新型コロナウィルス感染予防対策としてのこまめな手洗いの励行、新機種導入に伴う増員による使用量の増加が要因となっています。

取り組みとしては、

- 日常生活での節水の啓発
- 水道蛇口の水量調整を各所洗面台へ展開
- 水量データの計測・分析を行い、漏水の有無と漏水エリアの割り出し

を実施しました。東京オフィス他においては、節水の啓発のみを実施しました。



グリーン購入率の向上

全社（本社・本社工場 + 東京オフィス他）

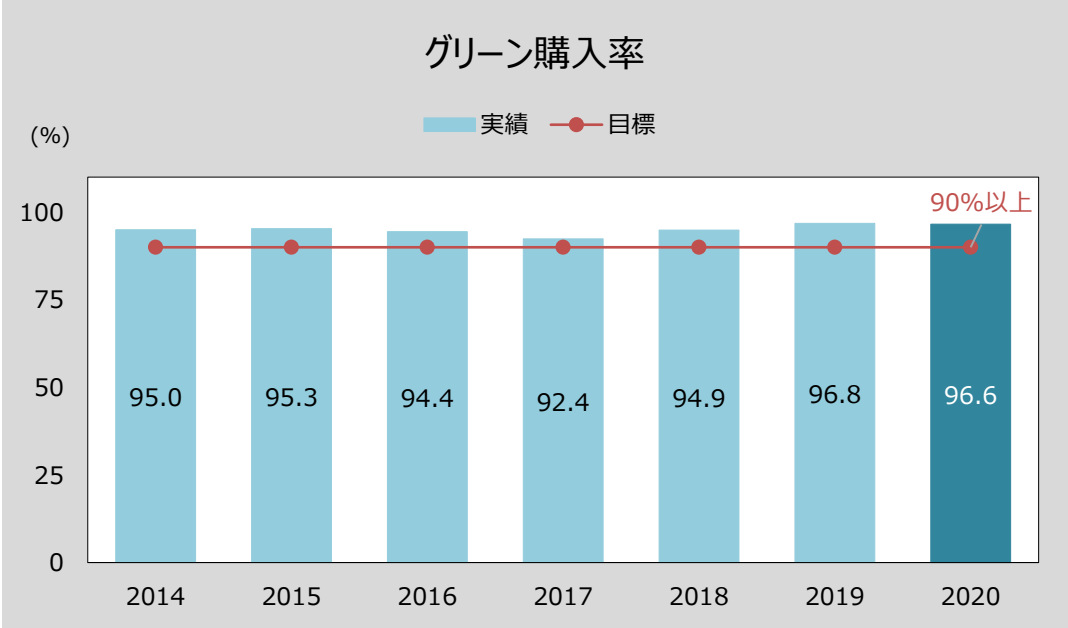
全社における「グリーン購入率の向上」は、2020年度目標を達成しました。

取り組みとしては、

- 購入依頼品がグリーン商品であるかチェックし、対象でない場合は可能な限り変更を促す。
- グリーン対象品として購入できないか事務局側でも調査

を実施しました。

これにより 90% 以上のグリーン購入率を継続達成しています



事例① “VAIO Z カーボンファイバー”～環境負荷検証、資源循環への取組を開始～

立体成型フルカーボンボディ

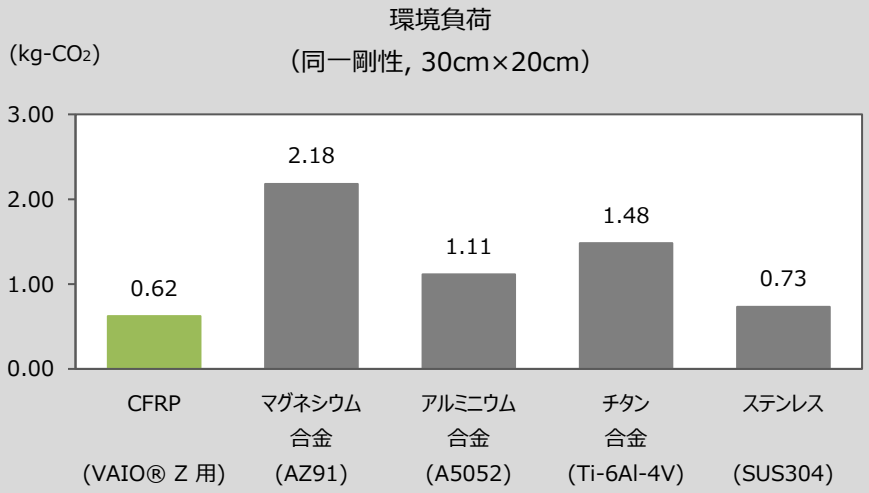
VAIO Zでは、PCの主要部を覆うすべての面構造を、カーボンファイバー（炭素繊維）で実現。

積層設計と立体構造で、剛性と軽量を両立するとともに、新たなブレイクスルーを生み出しました。

＊ノートPC筐体を構成する全ての面(4面)でマルチレイヤーカーボンファイバー（カーボンファイバー積層板）を使用

環境負荷検証と資源循環への取組開始

筐体材料として使用している炭素繊維は、同一剛性を考えたとき他の素材よりも環境負荷が少ない素材です。



VAIOでは将来的にこの炭素繊維の資源循環を行うため、炭素繊維の再生において優れた固有技術を有する株式会社ミライ化成と協業し、より付加価値の高い（劣化の少ない）再生技術を生み出すための研究開発を開始しました。

事例② “VAIO Z 省電力設計” ～無駄な電力を徹底的に削減する～

VAIO Z は、モダンスタンバイに対応

PC使用時、何も操作をしないと10分以内に自動的にスリープモードへ移行。スリープ中は最大限の省電力化をするとともに、使用時はスリープモードから瞬時に復帰できることで、長時間バッテリー駆動も実現しました。

VAIO専用の高容量で薄型・軽量な53Whの新開発バッテリーによって、VAIO史上最長、最大約34時間*というスタミナ駆動を実現しました。4Kモデルにおいても最大約17時間*駆動を実現しています。

*JEITA2.0測定条件による

ACアダプターの小型化・高効率化

次世代半導体と呼ばれる GaN（窒化ガリウム）パワー半導体を VAIO Z 用のType-C AC アダプターに採用。

出力を60% UPしつつ、小型軽量化（重量・体積共に約30%減）を達成しました。

新開発のType-C ACアダプター (VJ8PD65W)

	新開発 VJ8PD65W		従来品 VJ8AC10V9
最大電力	65W	←	40W
重量 (ケーブル含む)	164g	←	245g
サイズ	76cc	←	108cc

事例③ “エアコンの設置・照明のLED化拡大” ～CO2排出量の更なる削減～

エアコンの設置

3号棟1階の製造エリアに、エアコンを2ライン分設置しました。

電気の使用は増えましたが、ボイラー用の重油の使用が削減されたことにより、全体での経費削減と、CO_2排出量の削減を実現しました。

効果

CO_2排出量　　24.6　t-CO_2削減*

*2020年11月～2021年4月の期間で測定

照明のLED化拡大

照明のLED化を計画的に実施しており、2020年度は4号棟1階、4号棟2階を中心に実施しました。

試算では2年半で投資回収の見込みです。

効果

CO_2排出量　　90.4　t-CO_2削減*

*2020年度の年間値

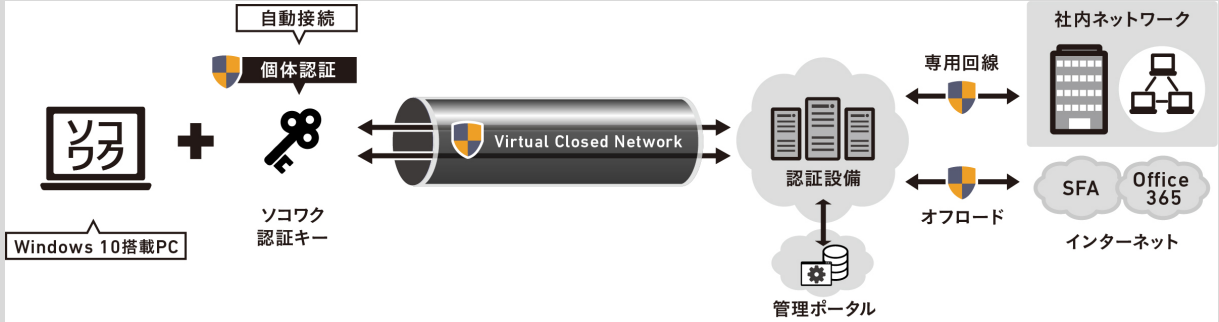
事例④ “働き方改革の推進” ～ソコワクのサービス機能拡充～

ソコワク

ソコワクは、これまでVAIO Secure SIM としていたサービスをマルチベンダー化。

VAIO以外のWindows PCも対象。サービス機能拡充を行い、装いを新たにサービスを展開。

コロナ禍により急激な在宅シフトによって様々な課題が露呈。リモートアクセスについても例外ではなく、従来のサービスではテレワークを快適に安全に過ごせなくなる状況が顕在化。本サービスにて顧客の課題解決を支援。



新世代セキュリティ

社内環境へ常時オンラインを実現
個体認証で ID・パスワード不要
5G/LTE の強固なセキュリティ技術を応用

大幅なコストダウン

IT 部門の保守コスト削減
低コストで導入可能
複数拠点間の専用線を廃止

圧倒的な快適さ

操作不要の自動接続
日々のサポートから IT 部門を解放
トラフィックオフロードで快適アクセス

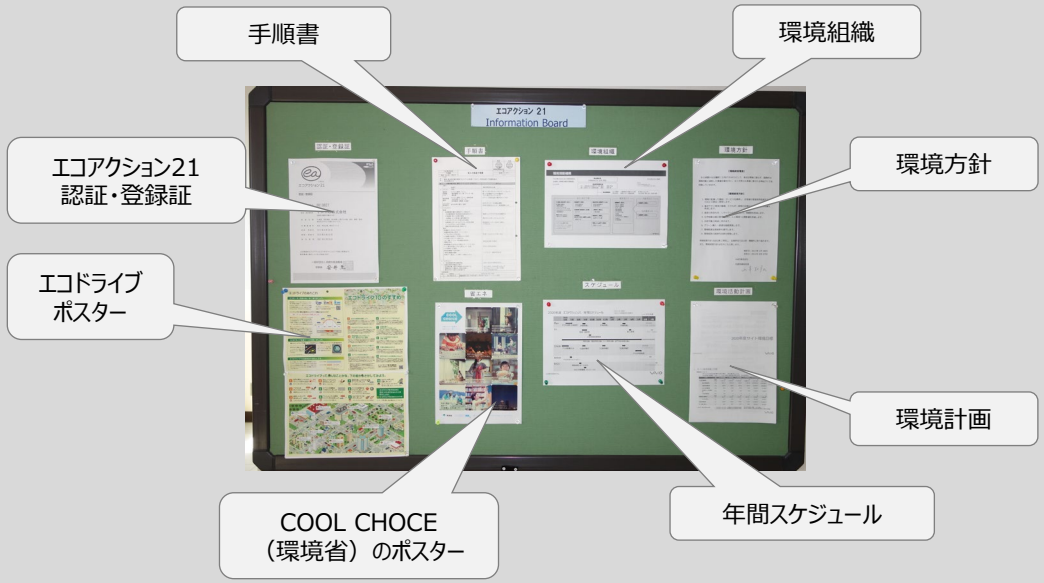
既存のリモートアクセスとの比較

	なりすまし	盗聴	端末感染	接続の手間	管理・運用	利用回線	海外利用	通信費
インターネットVPN	△ 認証方式による	○ 仮想閉域	△ ユーザー次第	△ 操作必要	△ 認証要素の管理・運用	◎ 任意回線	◎ 公衆無線 LAN 可	$-$$ 条件に依る
閉域網SIM	○ SIM 認証	◎ 完全閉域	◎ 通信経路固定	◎ 操作不要	◎ SIM カード管理	△ LTE 回線のみ	△ ローミング必要	$$$ パケ代高
ソコワク	◎ 個体認証	○ 仮想閉域	◎ 自動接続	◎ 操作不要	◎ 管理不要	◎ 任意回線	◎ 公衆無線 LAN 可	$-$$

7. 環境コミュニケーション

エコアクション21 Information Board

VAIO株式会社では、全従業員が見ることができるように、社員食堂出口に「エコアクション21 Information Board」を設置しています。



社員通用口階段にもポスター掲示

エコアクション21 ポータルサイト

VAIO株式会社では、従業員向けに「エコアクション21 ポータルサイト」を運用しています。

環境経営方針や手順書など、環境経営に必要な文書や記録などにすぐアクセスでき、内部コミュニケーションに大きく役立っています。

ホームページによる環境情報開示

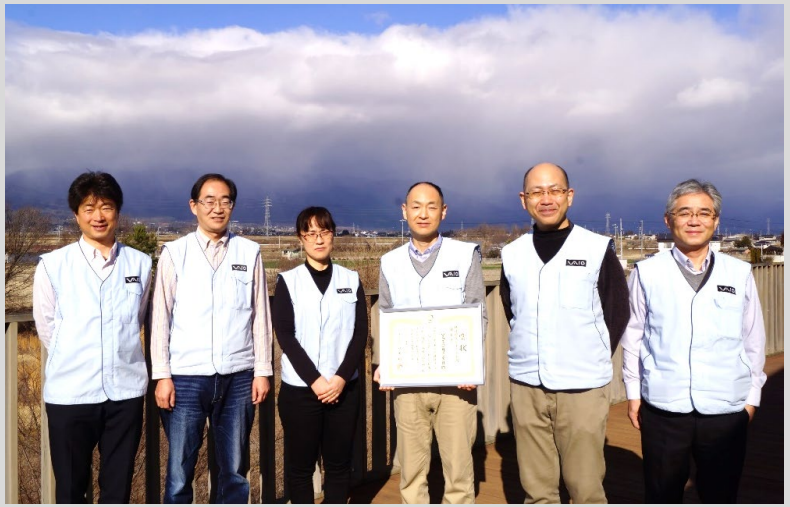
VAIO株式会社における「環境配慮への取り組み」を、ひとりでも多くの方に知っていただくため、弊社ホームページに「環境情報」を掲載しています。

https://vaio.com/environment/

環境コミュニケーション大賞にて、「優良賞」を2年連続受賞

VAIOの発行した「VAIO環境経営レポート2019」が、優れた環境報告書等や環境活動レポートを表彰する「第24回 環境コミュニケーション大賞」（環境省と一般財団法人地球・人間環境フォーラムの共催）の環境経営レポート部門において、「優良賞」を2021年2月に受賞しました。

VAIOは2014年の設立以来、一貫して環境経営を推進し、環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム「エコアクション21」の認証を取得しており、同賞へのエントリーは前回（「第23回 環境コミュニケーション大賞」）より実施し、2年連続の受賞となりました。「水と緑豊かな安曇野に立地する企業として、身近な環境に限らず、国際的な環境活動と調和した事業活動を行い、永く世界のお客様に愛される商品づくりを目指す」ことを理念として、今後も全社一丸となり環境経営に取り組んでまいります。



＜受賞に際して評価された点（講評抜粋）＞

本来業務に関する目標として、製品の重量削減、省エネ、化学物質削減の目標を原単位（パソコン画面サイズ当り）等で立てている。
目標達成の手法、成果は図、写真を使っておりわかりやすい。2014年度からの目標の結果を示しており、中期的な達成状況もよくわかる。

8. 環境教育・緊急時対応訓練

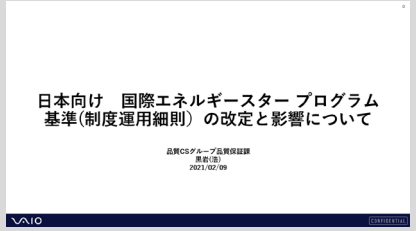
環境教育

環境一般教育（2020年10月）

全社員287人受講

国際エネルギースター制度要綱改正説明会（2021年2月）

設計関係者　15人参加



新人研修（2021年4月）

2021年4月入社の新入社員5人受講

緊急時対応訓練

危険物倉庫入出庫者登録教育（2020年8月）

化学物質取扱者8人参加

緊急時対応訓練（2020年9月）

ファシリティ関係者3人参加

高圧ガス保安教育（2020年11月）

ファシリティ担当者1人参加

本社警備室　自主防災訓練（2020年11月）

警備室3人参加

危険物取扱者保安講習（2021年1月）

ファシリティ担当者1人参加

安否確認訓練（2021年3月）

全社員280人参加

本社緊急時対応訓練（2021年4月）

＜非常ベル・緊急放送の鳴動確認テスト>

本社勤務者、協力会社　　計398人参加

9．社会貢献活動

●地域美化清掃活動 に 約100人 が参加

「安曇野市豊科地区一斉清掃」にVAIOとして参加。

始業前の約1時間、会社周辺道路、公共施設でのゴミ拾いを実施。

活動の様子

2020年10月30日と
2021年5月28日で
約100人が参加

●食堂廃油（天ぷら油）を 障害福祉サービス施設 へ提供

社員食堂から出る廃油 “天ぷら油” を施設へ提供し、
資源有効利用しています。

施設では、これらを家畜飼料に加工しています。

●使用済 ペットボトル・空き缶 を 障害者就労施設 へ提供

社内から出る飲料用の “ペットボトル”
および “空き缶” を施設へ提供し、資源有効利用し
ています。

施設では、これらを分別・減容・圧縮化し
リサイクル工場へ出荷しています。

●コロナ禍での新たな工場見学の形　～オンライン工場見学を実施（3校　合計約300人)～

例年近隣小学校の社会科見学を受け入れていますが、現在は新型コロナウイルス感染症予防として、受け入れを中止しています。

そのような中で、安曇野市内の中学校から「講座別テーマ追及学習」のテーマの一つである「産業」講座としてお声がけをいただき、現在の状況下でも実現可能な新たな工場見学の形として「オンライン工場見学」を開始しました。

会社概要、VAIOのものづくり、SDGs をはじめとするVAIOの環境活動などを説明しましたが、生徒の関心は高く　多くの質問があがりました。

オンライン工場見学の実績

2020年　9月　9日　安曇野市内の中学校　（27名）

2020年11月11日　安曇野市内の小学校（111名）

2020年11月25日　松本市内の小学校　　（158名）

VAIO側

学校側

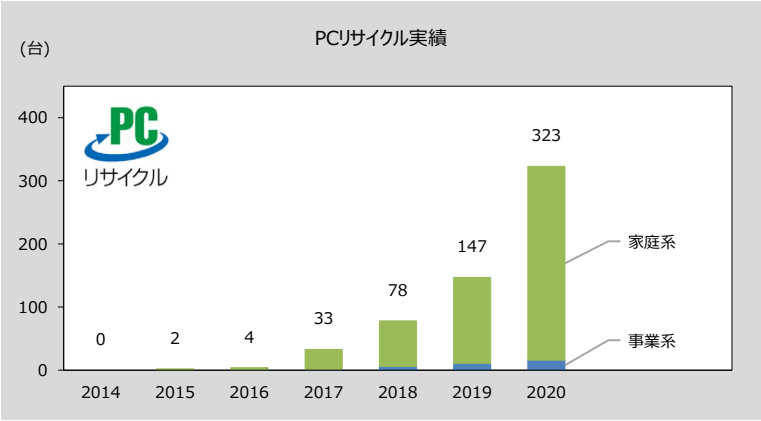
オンライン工場見学を実施した学校からお礼の寄せ書をいただきました。大変うれしく、社員食堂に掲示させていただきました。

10. 使用済み製品のリサイクル

パソコンリサイクル

VAIO株式会社では、「資源有効利用促進法」に基づき、ご不要となった弊社製パソコンの回収・再資源化を行っています。

弊社製パソコンは「PCリサイクルマーク」を表示しておりますので、お客さまに新たな料金をご負担いただくことなく、弊社が回収・再資源化いたします。



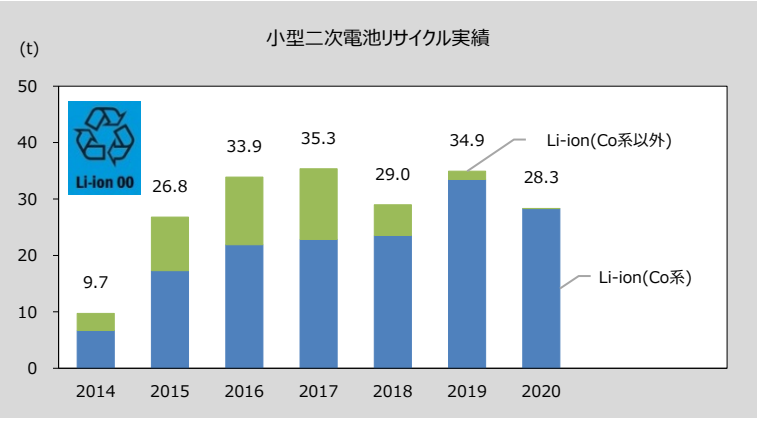
家庭系/事業系	回収・再資源化台数
事業系	16 台
家庭系	307 台
合計	323 台

VAIO株式会社は、一般社団法人 パソコン３R推進協会 の会員です。

バッテリーリサイクル

製品に用いられている充電式電池（バッテリー）には、リサイクル可能な希少金属材料が使用されています。

VAIO株式会社では、「資源有効利用促進法」に基づき、製品に搭載している充電式電池（バッテリー）の回収・リサイクルの推進に努めています。



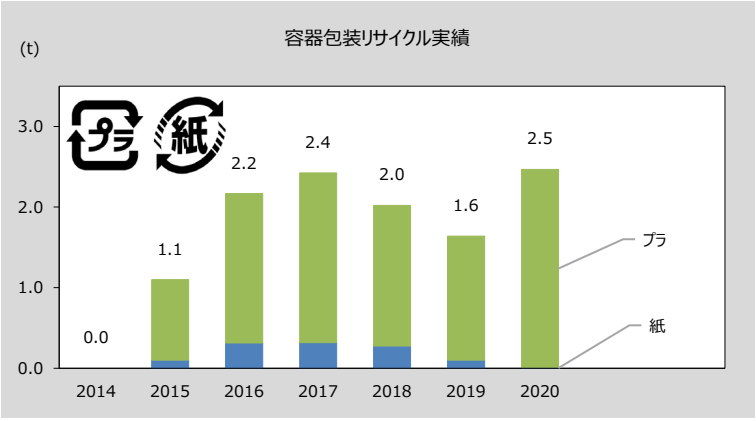
電池種別	リサイクル委託重量
Li-ion（Co系）	28.3 t
Li-ion（Co系以外）	0 t
合計	28.3 t

VAIO株式会社は、一般社団法人 JBRC の会員です。

容器包装リサイクル

VAIO株式会社では、「容器包装リサイクル法」に基づき、容器包装の再商品化の推進に努めています。

弊社製品に用いられている容器包装には、「資源有効利用促進法」に基づき、識別マークを表示しています。



素材	再商品化委託重量
紙製容器包装	0.0 t
プラスチック製容器包装	2.5 t
合計	2.5 t

VAIO株式会社は、公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会 の会員です。

11. 環境関連法規制の遵守評価

製品およびサイトに関係する環境関連の法令、規則、条例等の遵守評価の結果、すべて遵守していることを確認しました。

また、会社設立以来、違反、訴訟および勧告等の発生はありません。

※遵守評価結果　○：遵守

法規制	遵守評価結果
大気汚染防止法	○
安曇野市公害防止条例	○
騒音規制法	○
長野県公害防止条例（告示）	○
水質汚濁防止法	○
高圧ガス保安法	○
消防法	○
オゾン層保護法	○
廃掃法（産業廃棄物）	○
廃掃法（特別管理産業廃棄物）	○
廃掃法（一般廃棄物）	○
工場立地法	○
長野県景観形成条例	○

法規制	遵守評価結果
家電リサイクル法	○
建設資材リサイクル法	○
下水道法	○
フロン排出抑制法	○
資源有効利用促進法	○
小形家電リサイクル法	○
容器包装リサイクル法	○
省エネ法	○
化審法	○
化管法	○
グリーン購入法	○
水銀環境汚染防止法	○

12. 環境マネジメントレビュー

インプット項目	環境責任者（代表取締役社長）へのインプット内容	環境責任者（代表取締役社長）コメント
環境経営方針	現在は内容継続で山野社長承認	問題なし
環境活動組織	全組織を対象としている。 2020年度最終は10部門体制	問題なし
環境経営目標・計画の達成状況 製品環境負荷低減活動	・2020年度の結果 ① 製品本体重量の削減　モバイルPC：○　A4フルノート：○ ② 年間消費電力の削減　モバイルPC：○　A4フルノート：○ ③ オフ時消費電力の削減　全てのPC：○ ④ PVCフリー・BFRフリー・ハロゲンフリー化　全てのPC：○ ・取り組み VAIO Z　カーボンファーバーの環境負荷検証、さらに資源循環への取組を開始。 省電力設計による高いパフォーマンスを実現	問題なし
サイト環境負荷低減活動	・2020年度の結果 ① CO2排出量の削減　：○ ② 廃棄物排出量の削減：×　(原単位では未達、量は達成) ③ リサイクル率の向上　：○ ④ 水道使用量の削減　：× ⑤ グリーン購入率の向上：○ ・取り組み 3G1F北側エアコン投資、 照明のLED化の拡大	問題なし
SDGs および働き方改革への取り組み状況	・SDGsへの取り組み　VAIO(株)として、SDGsの17の目標に関連付けている ・働き方改革への取り組み　ソコワクのサービス機能拡充 東京オフィス移転による新しい働き方の提案	外部に発信する際には内容を精査すること
環境マネジメントシステムの運用・改善状況	・文書の制定・改訂状況：製品環境：全27文書運用中（14改訂） サイト環境：全16文書運用中（1改訂） ・製品環境アセスメント：Ver.7.0リリース、全モデル完了 ・環境管理物質管理基準：Ver.6.0リリース ・環境関連法規制新規/改正等の対応：問題なし ・使用済み製品のリサイクル実績：　PC:増加　バッテリー:減少　包装:増加 ・エコアクション21中間審査：ガイドラインに適合 ・環境教育・訓練：8項目の教育・訓練を実施	問題なし

インプット項目	環境責任者（代表取締役社長）へのインプット内容	環境責任者（代表取締役社長）コメント
遵守評価の結果	・製品環境：すべて遵守していることを確認　・サイト環境：すべて遵守していることを確認	問題なし
問題点の是正・予防状況	・製品環境：0件 ・サイト環境：1件（廃棄バッテリーの発煙問題発生。運用を見直し、廃棄手順改善を実施済）	問題なし
環境内部監査の結果	EA21ガイドライン2017に適合を確認	問題なし
利害関係者（顧客や地域住民、行政など）からの 要望事項	・要望事項：外部からの要望事項なし。 ・外部コミュニケーション：問い合わせなどにも適切に対応 ・「VAIO環境経営レポート2019」が環境コミュニケーション大賞にて優良賞を受賞(2年連続)	問題なし
社会貢献活動の状況	・地域美化清掃活動 に 2回で合わせて社員約100人 が参加 ・コロナ禍のため、長野県内の小中学校 3校 約300人 にオンライン工場見学を実施 ・食堂廃油（天ぷら油）を 障害福祉サービス施設 へ提供 ・使用済 ペットボトル・空き缶 を 障害者就労施設 へ提供	問題なし
製品環境負荷低減目標・計画2025	2025年度までに達成すべき目標を設定し、製品の環境負荷低減活動に取り組む。2020年度までは、資源有効利用、エネルギー使用の合理化、懸念化学物質の削減に取組んだ。2021年度からは、資源有効利用、エネルギー使用の合理化は引き続き行うとともに、ライフサイクル全体の環境負荷把握を新テーマにあげ、製品の環境負荷低減活動を推進する。	問題なし
サイト環境負荷低減計画2025	2030年　2050年へ向けてのステップとして、今後三年間でエアコンやLEDの導入拡大を予定。その後も旧フロンACのリプレースや重油ボイラーの廃止、断熱補修等を行う予定だが、これだけでは目標達成は不可能。グリーン電力への置き換えの検討が必要な状況。	LED化は進めるべき。グリーン電力導入は判断材料が欲しいが、価格が高いと普及しない。スペースが広すぎるので空調費はもっとコントロールできるのではないか。今後のオフィス戦略の中で光熱費を削減する方法を考えた方が良い。ファシリティをどうするかがエコにつながればと思う。

環境責任者（代表取締役社長）による全体評価		見直し指示
環境経営方針	□ 変更必要　□変更不要　☑検討必要	「2050年 カーボンニュートラルを実現するために尽力する」という趣旨の文言を環境経営理念に盛り込みたい。
環境経営目標・計画	□変更必要　□変更不要　☑検討必要	今後のオフィス戦略の中で光熱費を削減する方法を検討して欲しい。 また、環境の話を社内報に入れることを検討して欲しい。
実施体制	□ 変更必要　☑ 変更不要	特になし

13. 環境中期目標・計画2025

VAIOでは、2050カーボーンニュートラルという世界的な目標達成に向け、スコープ１である自社から直接排出されるCO_2の削減に向けた重油使用量の削減と、電力使用量等を含めたトータルでのCO_2排出量の削減を継続して行い、最終的には再生可能エネルギーへ切り替える検討を開始しています。

そのため、まだ一部で使用している重油ボイラーと冷水機による従来型の空調設備からの脱却を図り、オール電化を進めるとともに、屋根等への断熱塗装等を行うなど、老朽化した建屋のライフサイクル延長を目指します。

サイト環境中期目標・計画2025

活動テーマ	取組項目	目標
エネルギー使用の合理化	CO_2排出量の削減	2025年度までに2020年度比3%削減
	重油使用量の削減	2025年度までに2020年度比50%削減
資源の有効利用	老朽化した建屋のライフサイクル延長	2025年度まで現在の建屋の50%以上を継続使用する

製品環境負荷低減目標・計画2025

活動テーマ	取組項目	目標
エネルギー使用の合理化	省エネ法基準の達成[*1]	2025年度まで毎年100%以上
	オフモード消費電力の削減	2025年度まで0.5W以下
資源の有効利用	製品本体への再生材と バイオプラスチックの使用含有率[*2] 向上	2025年度までに10%以上含有
	梱包材のプラスチック使用量の削減[*3]	2025年度までに2020年度比30%以上削減
ライフサイクル全体の環境負荷把握	LCA（ライフ・サイクル・アセスメント）導入検討	製品の環境負荷を把握し、CO_2削減活動を実施する

※1　省エネ法2022年度基準における達成率です。

※2　再生材とバイオプラスチックの使用含有率：機器に使用されるプラスチック全重量（プリント基板、電子部品、ケーブル、コネクタ、光学部品を除く）中に含有する再生材とバイオプラスチックの重量比。
プレコンシューマ材料及びポストコンシューマ材料だけを再生材とみなします。

※3　梱包材のプラスチック使用量の基準年度は2020年です。2025年度までに2020年度モデル比30%以上のプラスチック使用量削減を目標とします。

「VAIO環境経営レポート2020」を最後までお読みいただきありがとうございます。

水と緑豊かな安曇野に立地するVAIOとして、
身近な環境に限らず、国際的な環境活動と調和した事業活動を行い、
永く世界のお客様に愛される商品づくりを目指していきます。

VAIO 及び “VAIO” はVAIO株式会社の登録商標です。

made in azumino japan